

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	重度心身障害者医療費助成事業			
予算科目	3 款 1 項 4 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 保健・医療の充実			
所管課情報	担当課: 保険年金課		電話番号(内線): 524	
記入者情報	所属長: 市野 孝敏		担当責任者: 福岡 富美子	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	1・2級身体障害者・療育手帳のA判定者・身体障害の程度が3～6級で療育手帳のB判定者			
根拠法令等	伊予市重度心身障害者医療費の助成に関する条例			
事業の目的	重度心身障害者の医療費の一部を負担することにより生活の安定と福祉の増進を図る。			
事業の内容	対象となる障害を持つ市民に対し、入院・通院にかかる医療費の自己負担分を助成する。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	引き続き福祉課との連携協力体制のもと、対象者には、障害者手帳の受取り時にあわせて重度心身障害者医療費助成の申請を行なわせる。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	151,208	157,700	73,627	153,892
	人件費	976	954	954	954
	合計	0	158,654	74,581	154,846
人件費 内訳	人工数	0.12	0.12	0.12	0.12
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	976	954	954	954
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	51,399	49,749	0	53,426
	地方債	0	0	0	0
	その他	39,064	51,002	18,692	37,699
	一般財源	61,721	57,903	55,889	63,721

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
年間扶助費(医療費助成額)	千円	151208	157700	73627	153892
医療費助成対象延べ件数	件	24498	25000	12302	25007

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
		156,040	159,160	162,340	165,590	

成果指標				
成果指標	1件当たりの医療費助成額＝年間扶助費÷医療費助成対象件数			
指標設定の考え方	1件当たりの医療費助成額を指標とし、障がい者の経済的負担の軽減の成果を測る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	6409	6308	6242	0
実 績	6172	6154	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	医療費の自己負担分の削減は、重度の障害を持つ方々の生活の安定化には必要不可欠であるといえます。対象となる障害を持つ住民に対しては、適正に助成を行わなければならないと考えています。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	この事業は、障害者本人と保護者の精神的、経済的負担の軽減と健康保持及び福祉の向上が図れ必要性の高い事業のため、今後も関係部署と連携を密にし、積極的に制度の周知を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題